

## 自治会町内会の 魅力発信！

つながる  
tsuzuki  
自治会町内会つなぐマガジン  
2021

を発行しました！

### コンセプト

都筑区では、123の自治会町内会が防災・防犯・子育て支援等様々な活動に積極的に取り組んでいます。この度、自治会町内会の魅力を発信し、より多くの方に加入していただきたいという思いから、都筑区連合町内会自治会と区役所により、自治会町内会紹介冊子「つながる tsuzuki 2021」を発行しました。地域の魅力がたくさん詰まった一冊になっておりますので、是非、御覧ください。

### 概要

#### 1 内容

- 特集1： 防災活動特集 「絆」が支える「安全・安心」  
牛久保東町内会の防災戦略
- 特集2： 防犯活動特集 地域の役に立ちたい！その気持ちが「青パト」  
を走らせる原動力
- おしえて 自治会町内会って何をしているの？
- こんにちは！都筑区の連長です！（各地区連合紹介）
- コラム： マンション自治会のススメ コミュニティは資産価値になる！  
等



#### 2 発行部数

10,000部

B5版フルカラー、24ページ

#### 3 配布場所、公開場所

都筑区役所5階54番窓口（地域振興課）

都筑区役所1階総合案内（区政推進課 広報相談係）

今後、都筑区役所2階12番窓口（戸籍課）において転入者へ配付するほか、区内自治会町内会と協力し、自治会町内会未加入世帯にも配付します。



都筑区ウェブサイトにてPDF版を公開しました。

[https://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kurashi/kyodo\\_manabi/kyodo\\_shien/jichikai/tsunagarutsuzuki.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/jichikai/tsunagarutsuzuki.html)

裏面あり

3名の市民ライターが自治会町内会の魅力を取材し、見開き2ページで紹介！

### 特集 01 「絆」が支える「安全・安心」 牛久保東町内会の防災戦略

取材・文：市民ライター 藤田 真

町ぐるみで防災に取り組んでいる牛久保東町内会。その活動組織の名称は「牛久保東町内会町の防災組織」略して「町防(まちぼう)」。いざという災害時にこれほど安心できる町内会はあるだろうか。

**牛久保東町内会 会長  
宮本 毅 さん**

昭和19年9月横浜市港北区に生まれる。現在77歳。38年横浜市消防局に採用され、平成16年まで40年間勤務。在職中に消防大学校助教にも就任。その後民間の防災顧問に。牛久保東町内会には平成16年から総務担当役員になり、令和元年から町内会長。

**モダンな住宅地で伝統行事**

勢いよく燃え上がるどんと焼きの炎。お餅を杖に刺し焼こうと待ち構える子供たち。各地で見られるどんと焼きだが、よく見ると見慣れない物がある。燃え盛る炭とそれを取り囲む人たちは見守るよううに立っている犬小2体の石仏。これは何だろう。牛久保東町内会の宮本会長に訊ねると、「古くから地元には伝わる温祖神(さむらい)の神です。」



この町は港北ニュータウンの一角にあり、地下鉄センター北駅から徒歩約15分。モダンな新築で立ち並ぶ創発的な住宅地と一部旧市街地が混在する。しかし数々の行事には地元には伝わる伝統がしっかり残されている。それらはもっぴこ餅相撲、兵神を祀る祭礼、芸能大会、夏祭り、家族大運動会、敬老行事などびっぴりなした。

### 「死ななすい出さない！」

牛久保東で見逃せないものがある。それは住民を守るための防災活動だ。「万一大きな災害が発生しても、一人の死者も出さないために組織しました。」と宮本会長。「牛久保東町内会町の防災組織」。略して「町防」と名付けられている。誕生のきっかけになったのは、「2011年3月に発生した東日本大震災です。この大災害を教訓にして立ち上げました。震度5弱以上の地震が発生したらすぐに活動を開始します。」町内会長の巻頭は「災害対策本部」に変わり、「町防」の幹部10人が駆けつける。しかし町の人口は約5,300人。会館には町民全員を収容しきれない。「町内には3つの会館がありますが、ここは『いつでも避難場所』に指定してあって、皆さんは一時ここに避難してもらいます。」「いつでも避難場所」では住民の安否確認が行われる。一方いざという時に備え、避難訓練、防災訓練、消火訓練なども定期的に行う。その中には民間の住宅が多い主婦が対象の消火ホースを扱う訓練もある。

素晴らしいのは独自で作った「防災マップ」。新聞紙面はもろろん、A2サイズのカラー印刷。避難場所はもちろん、消火栓、危険な橋、AEDなどの所在地、井戸の場所などが明示されている。



しかしこれらを示すことが地域作りの要因ではないという。「避難全員で、音殺から安全な避難ルートを確認しておくために作ったのです。」※会館に大かいま新かたまずに配られたら、全員で避難ルートを確認し、書き込んでおく。地図の表面は筆見易い書きやすくて、厚く破れにくい紙が使われている。炭灰の音が見やすい所に貼っておき、いつでも確認する。

### 「絆」が育つ伝統的町内行事

このほかにも「町防」には工夫とアイデアが一杯で紹介されない。最も大切にしているテーマは何か? 宮本会長は、「いろいろな行事を通じて町内の絆が深かれ、顔の見える関係が育ち、人と人とのつながりが実感されるようになることではないでしょうか。一言でいうと「絆」が生まれたことでは?」「まさに「絆」がびっぴりですね。」伝統の絆を持つ様々な行事は経済的な生活を送る町民の魅力になり、防災組織の形成に結び付けているのだ。この町に限らず、自治会町内会に加入すれば、様々な絆と自身のライフラインが確保できることは間違いないだろう。

写真入りで活動の様子を分かりやすく説明!

15人の連長が語る各地区の魅力とメッセージを掲載!

### おしえて 自治会町内会って何をしているの?

自治会町内会ではどんな活動をしているのかよく知らない、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ここでは、その具体的な活動について紹介します。

- 自治会町内会には会費のつづみの会費等によって自治的に運営されています。
- 会費は地域によってそれぞれ異なりますが、おねねも自治会費内蔵です。
- 自治会町内会には任意の団体でも、加入を強制するものではありません。

**01 災害にぞなえる**

地域防災拠点を設置し、万一の地震や水害などに備え、緊急時の協力体制を整えています。

地震など災害時をシミュレーションした防災訓練を定期的に行ったり、非常食や毛布など、災害時に必要なものを準備しています。



**02 見守り、犯罪を防ぐ**

子どもたちの登下校中の見守り活動を行っています。後継歩道を安全に渡れるようサポートするだけでなく、「おはよう」「おかえり」を一人一人に声をかけ、温かく見守っています。

夕方や夜には、防犯パトロールを行っています。人や車が戻ることで、空き家やひったくりなど、身近な犯罪を近づけないようにしています。



**池辺町連合自治会**

伝統を大切にする連合自治会です。

- 横岸 ● 池辺町中道
- 池辺町八所谷戸 ● 池辺町滝ヶ谷戸
- 池辺町上敷根 ● 池辺町下敷根
- 池辺町川内 ● 麓谷 ● 地方 ● 9自治会



池辺町特有の伝統芸でもある手作りの花菱・神鹿の舞が披露される。杉山神社例大祭(毎年秋分の日開催)は、池辺町の特色ある催しです。

池辺町は歴史ある街ですが、近年大型商業施設や大型マンションの建設が進み、居住者の構成も変化しております。これまでの伝統を継承しつつ、各種団体等との連携を密に、広く意見交換をしながら時代に対応した活動を進めてまいります。

**増尾 明 会長**

**佐江戸加賀原地区連合自治会**

多方面で活動する連合自治会です。

- 佐江戸 ● ライブタウン中山
- 加賀原一丁目 ● 加賀原二丁目
- シンフォニックヒルズ ● 加賀原2月野
- 港北ニュータウンハーモニーヒルズやすらぎの街 ● 7自治会



自治会の活動は多方面にわたりますが、その中でも防犯活動に力を入れています。青色パトローカーを都筑区内の連合自治会で最初に導入し、連合自治会内の安心・安全を推進しています。また、定期的な防犯パトロール活動を行うほかにも、都筑区では唯一となる女性防犯部隊を結成して活動しています。今後も、地域の人々が集まってふれあう機会を増やしていきたいながら、顔の見える関係づくりに取り組んでまいります。

**岩崎 伸幸 会長**

お問合せ先

都筑区地域振興課長 篠崎 浩晶 Tel 045-948-2230